

ライフケアガーデン熱川 別館

症 例 概 要 利用者：100代 女性 要介護2

病名：認知症、高血圧症、脂質異常症、老人性難聴（中程度）

40年前に夫が逝去してからは長年独居生活をしていた。

2017年、伊豆に住む長男家族と同居を開始するも折り合い悪く、ご家族から相談を受けたことで2018年3月当施設入居となる。

2023年3月の総胆管結石による入院を機に認知症が進行。「私のものではない」と自身の衣類を繰り返し居室外へ出すとともに、他者交流を拒むようになった。

多職種で働きかけ、館内装飾作成を担っていただいたことをきっかけに日常の中で楽しみを見つけ、百寿のお祝いではご家族とともに輝きの一日をお過ごしいただくことができた事例。

内 容

2023年3月以降入居者さんの認知症は進行し思い込みが激しくなった。自分で購入したりご家族から受け取った衣類を取り出しては「誰かが部屋に置いて行った」と興奮し職員に繰り返し訴えるようになった。職員はその都度傾聴し入居者さんのものであることを説明するも納得せず、かえって職員に不信感を募らせて居室にこもり入居者間でも孤立するようになった。

他者交流のきっかけ作りのため、介護職員は施設管理職員や食養職員と協力し館内装飾作りやガーデニング、クッキングを提案。特に館内装飾作りに興味を示し、集中しながらも表情穏やかに職員の言葉を受け入れて取り組み、入居者同士でも自然と交流するようになった。

装飾作りをきっかけに入居者さんの表情は明るくなり、季節のイベントや訪問販売を楽しむ「皆さんのおかげで幸せです」と仰ってくださるようになった。百寿のお祝いではかつて折り合いの悪かったご家族と笑い合いながら誕生日ケーキを召し上がり、和やかで充実した時間をお過ごしいただいた。

多職種を巻き込んで入居者さんに働きかけた結果、日常の中に楽しみを見つけ、百寿のお祝いではご家族とともに輝きの一日をお過ごしいただくことができた今回の事例をキラキラ介護賞として推薦する。

【多職種の関わり】

【看護】退院後の健康状態を観察。必要に応じて熱川温泉病院と連携し、居室にこもりがちであった入居者さんの体調管理に努めた。



アロママッサージを実施し、緊張と両足浮腫の緩和を行った。

【介護】館内装飾作り、ガーデニング、クッキング等を他部署と協力し実施。一人になる時間がないよう季節ごとの装飾作りの提案や声掛けを行った。

百寿のお祝いにおいても各部署と連携し、入居者さんとご家族に輝きの一日を提供した。

【施設管理】介護職員とともにガーデニングレクを実施。

完成した装飾を館内の目立つ場所に掲示し達成感を味わっていただけた工夫した。

【食養】介護職員とともにクッキングレクを実施。

百寿のお祝いでは好みのフルーツを盛り込んだ誕生日ケーキを作成し、入居者さんとご家族に大変喜んでいただいた。

【事務】百寿のお祝いにおいてご家族とスケジュールを調整。上映するスライドショーを作成し当施設での思い出を振り返っていただいた。